

受賞企業の主な取組

企業名	主な取組
<p>ジブラルタ生命保険株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命保険業 ・従業員数 12,150人 (うち障害者数 236人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者社員一人ひとりの得意分野を活かし、社内でも活躍できる環境の整備を進めており、障害のある社員も障害のない社員とともに働く風土を醸成している。 ・また、社内イベントの運営への参画や企業の中核業務となる営業部門での事務業務へのアサインなど新たな職域開発を進めている。 
<p>医療法人社団城東桐和会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療業 ・従業員数 1,151人 (うち障害者数 19人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者就労支援専任チームを設置し、チームは家族や支援機関などと連携し、「仕事」と「生活」の両側面からのアプローチにより、多面的な支援を実施している。 ・法人が展開する医療、介護、保育の分野における業務経験を可能としており、各職員の障害特性を活かしながら、「就労」と「育成」を同時に行うことで持続的、発展的な能力開発を行っている。 
<p>ソニー希望・光株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス業 ・従業員数 151人 (うち障害者数 125人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者の障害特性を活かすことができる新たな職域開発を進めており、企業本体からIT／映像関連業務を受託し、着実に成果を出し続けることで、企業本体に大きく貢献している。 ・また、障害者社員のうち多数を占める知的障害者が新たな業務に対応していくことができるようにPCやタブレットを用いた業務をアサインすることで業務の多能工化を進めている。 
<p>トランスコスモス株式会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報サービス業 ・従業員数 30,038人 (うち障害者数 697人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社内外からの業務を一括して受託し担当チームごとに業務を行う集合配置型と社内の各部門に常駐して業務を行う分散配置型を併用している。 ・障害者社員のうち8割が、プロフィットセンター(売上に直結するサービス系部門)で活躍しており、企業本体に大きく貢献している。 
<p>日本ヒューレット・パッカート 合同会社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITサービス業等 ・従業員数 約2,500～3,000人 (うち障害者数 約50人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入社後の2年間は、研修で学んだ技術やスキルを様々な業務で活かすことにより、将来のキャリアパスを見据えた能力開発と就労を両立することが可能となっている。 ・その後は、本人の希望や障害特性・個々の強みを活かせる配属を行い、安心して働ける職場環境づくりを実現している。 
<p>株式会社ハピネット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玩具等の企画販売業 ・従業員数 433人 (うち障害者数 15人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者社員が新規業務のミーティングに同席し直接交渉したり、業務を進めながらマニュアル整備・業務改善を行うなど、自立・成長を重視した人材育成を行っている。 ・独自の評価・昇給制度を導入するなど、障害者社員の能力開発・処遇改善に積極的に取り組み、安定就労を可能とする環境を整備している。 

各企業の取組詳細はホームページ「TOKYOはたらくネット」をご覧ください。

→ <https://www.hataraku.metro.tokyo.lg.jp/shogai/shien/award/award23.html>

